

【給食関係】新型コロナウイルス感染症対策について（2月12日版）

すべての児童生徒が、給食前の手洗い、消毒を徹底する。

＜給食時の基本確認事項＞

- ◎ マスクをはずす給食時は、一番注意しなければいけない時間である。
- ◎ 味気ない感じもあるが、給食時はおしゃべりせず、静かに食べる。
- ◎ 配膳・片付け等、基本的に自分のことは、自分で行う。
- ※ 給食時の感染拡大の可能性をなくすことに努める。

＜具体的な行動等の例＞

A 準備・配膳について

- 手をよく洗う。(給食当番から、順番に水道に行く。)手をアルコール消毒する。
- 給食当番は、配膳準備をする。(ワゴンを取りに行く。)
 - * その他の児童生徒は、自席で座って静かに待つ。
- 給食当番は、給食着（エプロン、三角巾）を着て、マスクを必ず付ける。
 - ※ 教員も必ずエプロン、マスク、三角巾をする。
 - ※ 給食当番を行う児童生徒及び教職員は規定のルールに従い、衛生状態、健康面に留意して行い、適切でないと認められる場合は給食当番を変える。
 - ※ 給食当番は週単位で、固定する。(万が一の場合、感染経路把握のため)
 - ※ 給食当番の点検表を確実に記入する。(健康チェックを徹底する。)
- 教員が、消毒液とペーパータオルを使って、配膳台を一方向に拭く。
- 配膳時の確認事項（密を防ぎ感染を防止する。）
 - * 配膳時に全部分け切る。おかわりはなしにする。
 - * 列ごと順番に配膳をするなど、前後の距離を十分に開ける。
 - * トレイ、箸（スプーン、フォーク）、ジャム類は、自分で取る。
 - * 減らしたり、おかわりをしたりしないように事前に対応する。
 - * 残食がある場合は、希望する人に教員が配る。(食べ始める前までに)
 - * 牛乳、ストロー、デザート（自分で取れるもの）は、配膳とは別の場所に置き、配膳をしていない他の列の人が順番に取りに行く。

B 給食中・食後について

- 配膳完了し、食べ始めるまでは、全員、マスクをはずさない。
⇒ 「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつ（やり方は工夫）
* 食事の始まりと終わりを明確にし、行動にけじめをつける。
- 全員、ランチマットを机に敷く。

C 片付けについて

- 片付け時もマスクを付ける。
- 食べられなかったものは、片付けのときに食缶（ごはんケース）に入れる。
- 食器は自分で片付ける。（班でまとめたり、重ねたりしない。）
- 列ごと順番に片付けをするなど、密を防ぐ。
- 給食当番は、担当したものをワゴンに運ぶ。
- ストロー、デザート等はビニール袋にしっかりと入れ、ビニール袋の口はしっかりと閉じてから、ワゴンの上に乗せる。
（紙類、ビニール類をしっかりと分別をする。）
- 配膳台は、教職員が消毒液で拭く。

※ 児童生徒数の違い、校舎等の様式の相違により、学校によって配膳や片付けの方法は異なります。感染拡大防止に向けて、学校ごとに工夫します。

D 牛乳パックについて

- パックは、開かずにたたみ、ごみとして捨てる。
* 学級ごとにビニール袋にまとめ、その後、大きなごみ袋に一つにまとめる。

E 配膳室の片付けについて

- 手袋、エプロン、マスクを着用して行う。
- 食缶の残食は1つにまとめず、学級ごとコンテナに入れる。
- ごはんケースは、全て空にして水を張らないといけないため、ごはんをビニール袋にまとめる作業は、配膳員や教職員が行う。

- 片付けが終了したら、係の児童生徒は、手洗い、うがい、消毒を必ずする。
- ※ 今までの片付け時間より、10分程度余裕を持って片付けをする。トラックが各学校を出発する時刻を10分程度遅らせる。

F その他

(手袋使用時の確認事項)

- 手洗い、消毒をしてから手袋をする。
- きれいな手袋であちこちを触らない。
- はずした手袋をまた付けない。
- やぶれやすいので、丁寧に使う。

その他、文科省（含む県教委）からの発出文書、市学校給食センターから出されている関係資料に基づき、適切な給食指導を実施する。